名古屋YMCA
みつかる。つながる。よくなっていく。
No.771 2021
YMCA News 12
2021年12月1日発行
1952年5月13日発刊
毎月1日（月刊定価1部60円）
（購読料はYMCA会費に含まれています）
公益財団法人名古屋YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村　隆
●編集人 中島成美

series 12 nagoya
シリーズ 名古屋YMCA120周年

YMCAのキリスト教基盤

名古屋YMCA名誉理事　西村　清

1844年6月6日、ロンドンで12人の青年が集まり、YMCAが誕生しました。産業革命によって、工業・産業が発展する一方、物質至上主義による人間性の荒廃が蔓延し、特に小さな子どもたちが労働に駆り立てられ、その心はむしばまれていきました。そんな中、ロンドンの商店の店員だったジョージ・ウイリアムスと仲間たちが、イエス・キリストの教えに基づいて、青少年に対し、祈りと奉仕の活動を始めたのがYMCAの始まりです。

日本では、1880年に東京に設立され、それ以来、全国にYMCA運動・活動が広がっていきました。名古屋でYMCAの活動が始まったのは1902年で、日本で6番目のYMCAです。現在YMCAが最も大事なこととして考えているモットーは、正直であること（Honesty）、人間として自分の言動に責任を持つこと（Responsibility）、他の人に思いやりの心を持つこと（Caring）、そして尊敬の念を持って人を大切にすること（Respect）の4つです。かつてのYMCAの赤い三角マークの意味した、魂（Spirit）精神（Mind）体（Body）の具体的な表象（形）が、この4つのモットーです。

私が名古屋YMCAに関わって半世紀を越えましたが、いつも心にあるのはYMCA創立者ジョージ・ウイリアムスが心にかけた、青少年の健全な成長を願う思いでした。理事長や国際青少年交流委員長などの役割を担ってきましたが、今はYMCAが大変大切に思っている“キリスト教基盤”に関わる月一回の「早天祈祷会」のお世話係をさせていただいています。また、名古屋

名古屋YMCA100周年記念式典にて
左：岩瀬康彦元総主事　中央：筆者　右：野村秋博元理事長

キリスト教協議会（NCC）という名古屋市を中心とした様々なキリスト教会、キリスト教諸団体、キリスト教主義学校の連合体が主催する「イースター早天合同礼拝」等の世話役もさせていただいています。かつて名古屋YMCAが上前津にあった時は、スタッフも多くおられた関係で「イースター合同早天礼拝」のお世話は名古屋YMCAが常に担っていました。キリスト教基盤という言葉だけのモットーではなく、私たちの日常の生活の隅々まで、キリスト教の愛の精神を持ちながら諸活動を展開できればと願っています。

現在、名古屋YMCAは様々な活動に取り組んでいます。南山幼稚園は長い歴史をもっていますが、最近は保育園も次々と設立され、また日本語学校も始まっています。言うまでもなくYMCAが取り組んできた英会話をはじめ、英語教育、体育教室、春夏秋冬に展開されているキャンプ、特に冬場のスキー教室などはYMCAの得意とするところです。またチャリティーランも永年続いており、障がいのある子どもたちの様々な活動を支援する費用に充てられています。特にここ数年続けられている「学童キャンプ」は、親の収入に関係なく、誰もが参加できるよう、多くの方々の支援を得て実施されています。これなどは本当にキリスト教基盤に基づくYMCAらしい活動ではないかと思っています。そのためにもYMCAを支えている者が、このような活動のためにもしっかりと支えていければと願っています。

報告

第28回名古屋YMCAインターナショナルチャリティーランを終えて

チャリティーランを2か月後に控えた9月半ば、ピークを過ぎたとはいえ未だコロナの流行が収まりきっていない時でした。本当に出来るのだろうかと言う不安を抱えながらも困難を抱える子どもたちへの支援を続けるのが大事だという思いで開催することとし、昨年と同様に感染拡大防止に努める中で、名城公園の周回コースを走るチャリティーラン(1DAYラン)と、期間中にそれぞれが好きな時間に好きな場所で走り、Webで投稿参加するWEEKランのどちらでも参加できるハイブリッド方式の開催となりました。

ギリギリまで開催の判断を遅らせた為に準備期間が短く周知や応募受付の期間も短く参加者が集まるだろうかと心配でしたが、ありがたいことに多くの申し込みがあり特に幼児や小学生低学年を中心とした個人レースは過去最多の参加希望者がありました。また大会運営のための支援金や物品の提供など、多くの企業や個人の方々から寄せて頂きました。本当に感謝です。

１DAYの当日が近づくにつれ、幸いにも急激に感染者の数も減り、また当日は良い天気にも恵まれ、今までいろいろと制約の多い生活を送っていたうっぷんを一気に晴らすかの様に、参加者の皆さんは元気に活き活きと走っていたのではないかと思います。そして※3,343,562円もの支援金をお預かりすることが出来ました。みなさまよりお預かりいたしました支援金は、YMCAが行う障がいのある子どもたちのプログラムのために使わせていただきます。本当にありがとうございました。

来年以降もより楽しくて有意義な大会にしていきたいとチャリティーランに携わったスタッフやボランティアはじめ全ての人が思っています。どうか今後とも皆様のご支援をお願いいたします。

（報告：大会実行委員長　渡辺　真悟）

※現在支援金集計中です。

参加者ランナー数　ランナー総数 **252**名

個人レース（幼児～一般）

1DAY 78名　WEEK 12名

チームレース

1DAY 22チーム　WEEK 5チーム

報告

チャリティーゴルフ2021

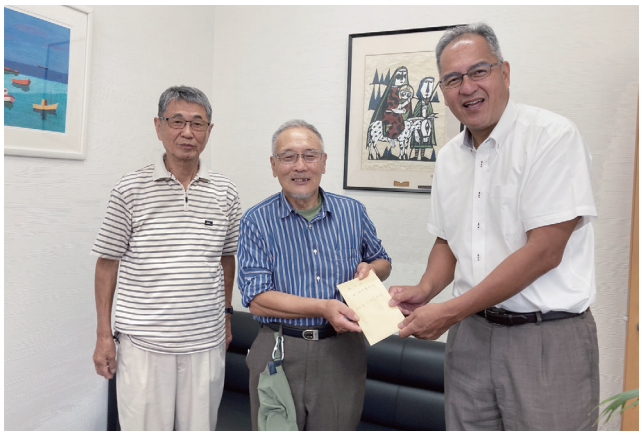
2021年11月18日(木)に鈴鹿カンツリークラブ中/西コースにて、第28回名古屋YMCAチャリティーゴルフが開催されました。コロナ禍で日々厳しい状況が続いておりますが、総勢72名の方にご参加いただきました。また、天候にも恵まれ、和気あいあいとチャリティーゴルフが行われました。今回ご支援いただいたチャリティーゴルフの支援金は、学童キャンプ支援・国際協力募金・東日本震災支援に充てられます。名古屋YMCAは皆様のご支援を大きな支えとして、目的達成のために今後も努力して参ります。来年度のご参加も心よりお待ちしております。

（報告：遠山　恵理）

優勝 中野勝巳様　準優勝 小野二朗様　支援金 255,172円

愛知山岳会様
ご寄付感謝いたします。

去る10月8日「愛知山岳会」様より、50万円を名古屋YMCAの社会貢献活動のためにご寄贈いただきました。旧名古屋YMCA山岳会会員である青山幸男さんより、当時を振り返る思い出を寄稿していただきました。



左：青山幸男氏（筆者）　中央：広瀬修一氏（愛知山岳会）

私の名古屋YMCA時代

YMCA英語教室の生徒達が「山彦会」のハイキングクラブを結成したのが昭和27年でした。その後登山ブームで、スポーツアルピニズムを取り入れた登山活動が盛んになり、高等学校3年生だった私が入会した昭和37年には、すでに「名古屋YMCA山岳会」と名を変え、バッジと会旗も出来ていました。毎水曜日に集会をもち、6月には安全登山祈願のザイル祭と懇親会を、会員の家族・友人を誘って開催。春のゴールデンウイークは春合宿。夏休み期間は夏合宿。秋の休みは秋合宿。年末年始の休みは冬季合宿と、登山活動に明け暮れていました。

また、YMCA主催の研修会やクリスマス会にも参加してYMCA精神を学びました。対外的には韓国ソウルYMCA、神戸YMCA、大阪YMCAの山岳会との交換会も行い、お互いの連帯感を深めました。当時YMCAのビルの中にはホテル部門も有り、外国のお客様とロビーなどで接することにより、海外登山の夢を持つようになりました。昭和42年には岐阜県山岳連盟主催カナディアンロッキー登山隊に当会員も派遣されました。昭和47年には当会主催のネパールの山、プタヒュンチュリー(7246m)の登山隊に岐阜岳連、神戸、大阪より各1名の参加を得ました。

喜ばしい話題としては、50数名という多くの会員が在籍していましたので、そこで数組のカップルも生まれた良き時代でした。

その一方で、活発な登山活動を行う中で事故も起こり、YMCA活動に反するとの事で昭和50年にYMCAから離れる事になり、当時のメンバーで「愛知山岳会」を立ち上げて今日に至ります。

（青山　幸男〈旧名古屋YMCA山岳会会員〉）

総主事コラム

木造建築
～育みの場として～

かりやYMCA保育園の建築が、来年4月の開園に向けて進んでいます。子どもたちの健やかな成長を願い、1000㎡の木造平屋建て。木造建築には木の持つ温かみや調湿性、通気性が良く断熱性に優れ、風邪を引きにくいとのデーターもあるようです。残念ながらコロナ禍によるウッドショックの影響を受け、建築コストは高騰してしまいましたが、質を落とす訳にはいきません。基礎の部分には地中蓄熱を用いた間接暖房を備え、冬場の乾燥対策やアレルギー対応にも配慮いたしました。先日より、土台の上に柱を立て、柱に梁を架け、金物でつなぐ建て方が始まっており、数百本にも及ぶ柱が見事に組み立てられていく作業は壮観です。屋根の上の方の部材である棟木(むなぎ)を取り付けることで上棟(じょうとう)となりますが、すべての柱が組み合わさることで建物の強度が備えられます。私の想像を遥かに超えた柱の数、まさに人間を構成する骨格と同じだと不謹慎ながら感じました。これから屋根を張り、壁を作り、電気・水道を引き込み、内装を整えていくことが、子どもたちの成長の場面と重なります。乳・幼児期の子どもたちの育みの場として、建築の場面から成長のための願いをしっかりと込めたいと思います。「適材適所」は、材木ではなく人財とし「適財適所」と書き換える風潮もありますが、自らの命を人のために捧げてくれて、材質に応じた場所で用いられる木材に、改めて敬意を表します。

追記：近い将来には輸入材ではなく、国産材が流通するような林業の発展を願います。

（中村　隆）

Christmas Message

「つながる喜び」

日本基督教団 東海教会
公益財団法人名古屋YMCA評議員
牧師　和　田　芳　子

（参照聖書　ルカによる福音書2章8～21節）

イエスさまがお生れになった知らせは、天使によって最初に羊飼いたちに伝えられました。「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」そう、わたしたちの代表として、羊飼いが「あなたがた」と天使に呼ばれたのです。羊飼いは羊の世話をする人たちです。羊は大切な家畜ですから、いつも羊を草が生えているところに連れて行くので、町を離れて遠くまで行くことがあります。羊を泥棒やおおかみなどから守るために一晩中番をしなくてはなりません。当時の律法というイスラエルの人たちが守るべき掟による安息日を守れなかったり、礼拝に出ることが出来なかったので、まわりの人からよく思われておらず、仲間外れにされていました。

天使に告げられて出かけた羊飼いたちはイエスさまを見つけました。そこでイエスさまについて天使が話したことを人々に知らせたのです。いつもなら人々と話す機会もなく、話してもばかにされたり「羊飼いの話なんか信用できない。」と思われたでしょう。けれどもこのとき、人々は羊飼いの話した天使についての話を、「不思議に思った」のです。つまり、人々は羊飼いの話を聞いて、心にとめたのです。

このように、イエスさまがお生まれになったところで、いつもは仲間外れにされている羊飼いが人々と一緒になり、話をし、天使のことをわかち合いました。イエスさまがともにいてくださる交わりができたのです。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。」という天使のことばは、今を生きる私たち、すべての人たちに、イエスさまによって神さまとつながり、人と人とがつながる喜びを伝えてくれています。この喜びに押し出されて、名古屋YMCAの使命、「共に生きる世界の実現」に向かいましょう。

維持会員感謝・ご寄付感謝

維持会員（2021年10月25日～11月29日）

（継続）浅野　猛雄　榊原　康成　野村　秋博　野村　靖子　小倉和三郎　鈴木　浩之　山本　徹
山本　清子　渡邉　徹朗　尾関めぐみ　伊藤　剛　伊藤美穂子　河部　薫　笠井　康助
松浦　剛　鈴木　誉三　谷川　修　榎田　勝利　都築　正和　川本　龍資

（新入）遠藤　通寛　三枝　隆

国際協力募金（11月29日現在）

澤田　侑樹　岩上　颯志　木村依怜菜　木村珠央菜　木村玲央名　多田　満雄　冨﨑　柚希　真城　陽明
岡野　友奏　田中　葉琉　二口　悠子　尾関　望心　岡野　将直　松岡　佐保　渡邊　玲奈　岡村　英子
加藤　幸子　田口　邦子　辻　美代子　上林　寿子　天野伊津歌　岡田美はる　川瀬　琴子　川瀬悠之介
寺本あきら　平子　陽太　鬼頭美恵子　松尾　恭佑　中井　信幸　長谷川和宏　高木　もあ　早川　仁紀
早川　香音　吉村　風花　秋元　望来　石田　光　石田　真之　伊藤　遥人　瓜田　晃康　岡　煌真
奥村　聡太　鬼柳　隼大　黒木　莉子　坂本　悠真　千葉　由栞　野田　柚貴　服部　朋葉　松本　昌大
向井　佑吏　浅野由梨佳　川口　裕子　市川　弘基　尾井　史華　齋藤　弓子　中村　隆　松原　行謙
谷川　修　橋本　啓　浅野真紀子　東田　美保　山田　公子　竹本　未佳　北村　称子　鳥羽ひろみ
レーアン ヤ バオ　髙木ネイサン悠人　かみさわ保育園園児　古川　朝暘　鹿野　大

ワイズコーナー12月例会の予定

名古屋・名古屋南山	12月11日(土)17：00～20：00	クリスマス祝会　※名古屋・南山合同	ホテル名古屋ガーデンパレス
名古屋東海	12月 5日(日)17：30～20：00	クリスマス祝会	ラ・スースANN
名古屋グランパス	12月 4日(土)11：30～14：00	クリスマス祝会	ルブラ王山(覚王山)

早天祈祷会　日時　12月7日(火)　7：45～8：30　会場　名古屋YMCA５Fチャペル
奨励　加藤明宏氏(前名古屋YMCA総主事)

お問い合わせ

名古屋YMCA	052-757-3331
YMCAこひつじ保育室	052-757-5530
南山ファミリーYMCA	052-831-6968
南山幼稚園	052-831-8271
神沢ファミリーYMCA	052-879-6300
YMCAかみさわ保育園	052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院	052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと	052-823-2021

https://nagoyaymca.org

名古屋YMCA使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2021年度聖句

「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。」
（ヨハネによる福音書15 章5 節）